

【主担当部局：警察本部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

市町や地域住民、ボランティア団体、事業者、学校等との連携による犯罪防止に向けた取組と、発生した犯罪に対する検挙活動の推進により、県民の皆さんが安全で安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。また、社会全体で犯罪被害者等に対する支援が行われています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知件数		9,400件 未滿		8,700件 未滿		7,500件 未滿
	10,322件					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷を除く）について、1年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
3年度目標値の考え方	刑法犯認知件数は、ピークであった平成14年以降ほぼ一貫して減少しており、現状の刑法犯認知件数の減少傾向を維持させる必要があります。 令和5年に7,500件未滿とすることを目標に、毎年段階的に減少させることとし、令和3年度の目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
「子ども安全・安心の店」認定事業所数		600事業所以上		800事業所以上		1,000事業所以上
	262事業所					
重要犯罪の検挙率		90%以上		90%以上		90%以上
	94.8%					
機動力の向上、施設の老朽化・津波浸水への対策を講じた交番・駐在所数		85か所以上		90か所以上		100か所以上
	80か所					
犯罪被害者等支援施策集を作成した市町数		11市町		18市町		29市町
	2市					

## 現状と課題

- ①犯罪の発生は、県民に不安を与えることから早期の検挙が重要です。最近では、防犯カメラ画像の収集や分析、電磁的記録の解析による犯罪立証など、電子機器を活用した捜査が不可欠となっており、さまざまな捜査資機材や検査機器が必要です。加えて、こうした捜査に対抗し、容姿を隠匿する犯罪には、最新の鑑定手法を取り入れる必要があります。
- ②警察が行う防犯・交通安全教室は、年間約1,400コマに止まっています。これは、警察官の訪問という時間的制約から、これ以上の実施ができないためです。加えて、令和2年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問自体が困難となりました。このため、開催数を向上させることができ、感染症対策にも適応したりリモート教室を導入する必要があります。
- ③地域警察官の活動は交番・駐在所を拠点に、パトカーを使用して行われます。一方、耐用年数を超えた交番・駐在所は73か所、またパトカーが配備されていない駐在所は33か所もあります。このため、建て替えやパトカーの配備による機能向上を早期かつ計画的に行う必要があります。
- ④大台警察署は、南海トラフ地震や激甚化する風水害等で、大きな被害が懸念される南部地域の北端に位置します。近い将来に発生が予想される災害の拠点として、救出救助などの警察活動を迅速かつ的確に展開できるよう速やかな建て替えを進めます。
- ⑤令和3年度は、県内で島サミット、国体・大会が開催され、国内でもオリ・パラ大会とこれに関連する行事が開催されます。こうした大規模行事を安全に開催するため、警備に万全を期す必要があります。
- ⑥多様な主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進するため、市町と緊密な連携のもと、地域の自主的な防犯活動等を促進する必要があります。
- ⑦「三重県犯罪被害者等支援条例」をふまえて策定した「三重県犯罪被害者等支援推進計画」（令和元年12月）に基づき、犯罪被害者等支援施策を総合的かつ計画的に推進する必要があります。犯罪被害者等のおかれている状況はさまざまであり、求められる支援も多岐にわたることから、市町をはじめとする関係機関等との連携を強化し、総合的な支援体制を整備することが求められるとともに、二次被害を防止するため犯罪被害者等に対する県民の皆さんの理解を促進する必要があります。

## 令和3年度の実行方針

### 警察本部

- ①犯罪を早期に検挙するため、捜査資機材や検査機器を導入するとともに、科学捜査研究所の鑑定環境の整備にも取り組みます。
- ②複数の学校・クラスに同時に配信ができ、非対面・非接触で双方向の授業が可能となるリモートによる防犯教室、交通安全教室に取り組みます。
- ③老朽化した交番・駐在所の建て替え、パトカー等装備品の購入など警察活動を支える基盤の整備に取り組みます。
- ④災害等有事の際の即応体制、災害活動拠点としての機能に配慮しつつ、人口減少・高齢化社会に適応した大台警察署の設計に取り組みます。
- ⑤島サミットでは、各国の首脳が、国体・大会でも、皇室をはじめ来賓、選手、関係者など多数の方が三重県を訪問されます。来県された皆さんが、それぞれにとって極めて重要な活動を安心して行っていくため、会場・移動経路などで万全の警備を行います。

## 環境生活部

- ⑥多様な主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、市町との連携を一層強化しながら、「意識づくり」「地域づくり」「環境づくり」をベースに、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」の展開を図ります。
- ⑦「三重県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき、犯罪被害者等の状況に応じた必要な支援を適切に行うため、三重県犯罪被害者等見舞金の速やかな支給を行うとともに、市町をはじめとする関係機関等との連携を強化し、総合的な支援体制を整備するほか、研修会の開催等により支援従事者を育成します。また、犯罪被害者等を支える社会の形成を促進するため、犯罪被害者等に対する県民の皆さんの理解を深める取組を推進します。

## 主な事業

### 警察本部

#### ①庁舎等施設整備費（科学捜査研究所整備事業）

【基本事業名：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 3, 560千円

事業概要：緻密かつ効率的な鑑定を可能とする科学捜査の環境整備に向けた調査を行います。

#### ②（一部新）生活安全警察費

【基本事業名：14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化】

予算額：(R2) 5, 055千円 → (R3) 9, 611千円

事業概要：リモートによる防犯教室、交通安全教室に取り組むことで、感染症対策に配慮しながら、開催数・受講者数の向上を図ります。

#### ③警察官駐在所等整備費

【基本事業名：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】

予算額：(R2) 330, 916千円 → (R3) 259, 480千円

事業概要：人口が急増している朝日町に交番を新設するための工事に着手します。老朽化した駐在所を建て替え、相談室を設置するなど、警察活動を支える基盤の整備に取り組みます。

#### ④警察署庁舎整備費（大台警察署建替整備事業）

【基本事業名：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】

予算額：(R2) 8, 513千円 → (R3) 67, 231千円

事業概要：南部地域の災害拠点としての役割、人口減少社会に適応した施設となるよう大台警察署の建替整備にかかる基本設計、地質調査を行います。

#### ⑤テロ等対策費

【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進】

予算額：(R2) 51, 518千円 → (R3) 211, 119千円

事業概要：各種警備部隊の活動に必要な装備資機材を確保するなどして警備の万全を図ります。

**環境生活部**

⑥安全安心まちづくり事業【基本事業名：14101 みんなで進める犯罪抑止に向けた取組の推進】

予算額：(R2) 817千円 → (R3) 970千円

事業概要：「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」に基づき、市町との連携強化を図り、県民の皆さんや事業者等さまざまな主体と協創しながら、安全で安心な三重のまちづくり実現に向けた取組を進めます。

⑦犯罪被害者等支援事業【基本事業名：14104 犯罪被害者等支援の充実】

予算額：(R2) 10,380千円 → (R3) 8,815千円

事業概要：「三重県犯罪被害者等支援推進計画」に基づき、犯罪被害者等に寄り添った各種支援施策を推進するとともに、関係機関・団体が相互に連携する総合的な支援体制を整備します。また、犯罪被害者等が二次被害を受けないよう、県民の皆さんの理解促進を図ります。